

ゆうすけ通信

発行責任者／福山市議会議員 大田 祐介
後援会事務所／〒720-0825
福山市沖野上町3-6-33
TEL:084-932-7855
FAX:084-921-8801

vol.13

親善友好都市・タクロバン市の支援活動

昨年11月8日に観測史上最大級の台風(ヨランダ)により、死者・行方不明者約8千人という大きな被害を受けたタクロバン市、私が顧問を務める「タクロバン・福山交流支援センター」に福山市・市議会・医師会ほか多くの市民の皆様からご寄附をいただき、現地のニーズを調査の上で支援物資輸送用の車・パソコン・FAX等を購入して直接届け、さらに市民病院の屋根の修理に充当しました。

しかし、復興にはまだまだ程遠い状況です、引き続きご支援いただける方は、下記に振り込みをお願いします。



打ち上げられた船



何も無くなった海沿いの町



タクロバン市役所に車を寄附

① 郵便局

口座記号番号 01340-5-108697(右詰)
加入者名「タクロバン・福山交流支援センター」

② 銀行振り込み

ゆうちょ銀行(店名139) 預金種目2(当座預金)
口座番号 0108697
口座名「タクロバン・福山交流支援センター」

「永遠の四一」を出版

まもなく市制百年を迎える福山市。その市制施行に大いに寄与した備後の郷土部隊「歩兵第41連隊」の誕生から終焉までをまとめた本を5月に出版します。

「永遠の四一」取り扱い店

- 「啓文社」各店
- 大田記念病院売店「福山健康舎」
TEL.084-931-4572

価格 4,100円(税込)



出征風景(ローズナード賣店街に入る)



大田祐介

永遠の四一
歩兵第41連隊の戦歴を辿る

また、山野峡の清流で川遊びが楽しめるよう、魚を捕まえるための道具を各種揃え、名瀑・龍頭の滝まで遊行できるように沢タビ・ウエットスーツ・ヘルメット等の沢登り道具も揃えている。このようにして山野町の自然を満喫した子供達とその親の中には、山野町に移住を希望する人も現れるかもしれない。

ここまで書けば順風満帆のようであるが、実際には小・中学校の児童生徒数はすでに一桁になっており、存続の危機にある。また医療・介護施設が皆無のため、人口流出も歯止めがからない。それでもここに集まる協力隊員の姿を見れば、山野町の持つ地域力や魅力が引き寄せているとしか思えない。読書の皆様にも、漢吉浩介氏の「里山資本主義」を読んで、ぜひとも山野町の援軍になっていただきたい。一緒に里山で汗を流し、生きる力を養いたいものである。



福山市青年部 福山市商工会議所

第一回靴の浦伝大会

日本中が空前のマラソンブームであり、人気の大会は何倍もの抽選になるほどだ。福山も風光明媚な靴の浦に向かって走るマラソン大会が実現できたら良いと思っ。しかし、32年前の第一回福山マラソンにて、竹ヶ端から靴の浦というコースで実施し、大渋滞を引き起こして苦情が殺到した苦い経験がある。

再度あのコースでマラソン大会を実施するにはどうしたら良いか有志で検討した。その際、まずはコースの車輛通行止めを必要としない「駅伝」を開催して下地作りをしてはどうかと提案させてもらった。駅伝は多くの選手が参加しても、同時に走る選手数はチームの数だけだからだ。

私は過去9回「グリーンライン駅伝」を開催してきた経験があったので、駅伝コースの設定と警察との折衝を担当したが、駅に抜ける県道22号線は迂回

経済レポート H25.12.1「祐介の目」

路が無いため、警察との折衝は当初より難航した。コース案は「三軒三軒したがり」か「靴の浦」のコース設定に道路使用許可が下りた。11月17日、靴・高島・水呑学区合同による靴の浦駅伝が開催された。各中継点の運営、車や選手の誘導は各学区体育会が中心となっており、役員はすべてボランティア、その数は200人にのぼった。地元から役員を出したこともあり、駅伝やマラソンに対する理解も深まったことと思う。



タクロバン市に寄附した車

タクロバン市の支援について

昨年の11月8日、観測史上最大規模の台風により甚大な被害を受けたレイテ島のタクロバン市は福山市の親善友好都市である。レイテ島の戦いは大東亜戦争における天王山と言われ、8万人の日本兵が戦死した鎮魂の島であり、現地住民も多数が巻き添えとなった。

昭和55年、レイテ島で玉砕した福山歩兵第四連隊の慰霊団に同行した中川市長が、タクロバン市のシン「コ」市長の求めにより姉妹都市提携を結んだ。ところが中川市長は、市議会はもちろんな市の幹部にも諮っていないかつたため、帰国後にひと悶着あり、提携は無効との声も上がった。

その後30年間、行政間の交流は無かったが、私が議員になってから「タクロバン福山交流支援センター」を立ち上げ、この問題に取り組んだ。提携の過程はどうあれ、レイテ島の記憶を

経済レポート H26.1.1「祐介の目」

風化させてはならない。70年前に日米の決戦場として踏みじられた島にもかかわらず、住民の多くは親日的であり、多数の日本兵慰霊碑の管理も行ってきている。台風一過、今こそ70年前の贖罪と恩返しをする時が廻ってきたように感じる。幸か不幸か今まで誰も知らなかったタクロバン市が、いまや世界中で知らない人はいない。福山市の支援のあり方が問われた。そこで福山市から200万円、市議会から40万円の見舞金を支援センターに寄附していただき、私達の人脈で被災地のニーズを把握して、隣のセブ島より軽トラやパソコン・プリンター等を調達してフェリーで送った。自衛隊や赤十字等の団体に負けない効果的な支援が行えたと自負している。



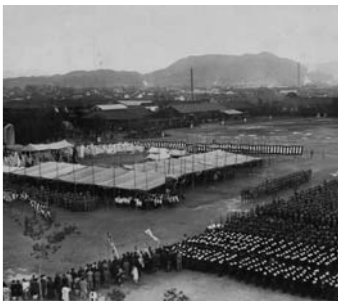
ゆうすけ山荘

経済レポート H26.2.1「祐介の目」

ウの産地として適しており、「山野峡ワイン」の誕生も夢ではないと考えている。ところで、山野町は3年前より始まった福山市の重点政策「里山里地モデル地域」にも指定された。これも



皆様のご支援により、今春で議員活動も10周年を迎えました。平成24年5月(3期目)より最大会派「水曜会」に入り、毎議会質問に立っています。またこの2年間は「民生福祉委員会」の委員長として保健福祉行政の取りまとめ役となり、「競馬場跡地利活用検討特別委員会」の委員としても職責を果たしてきたところです。活動報告は、メール版「ゆうすけ通信」、facebook・ブログ・経済レポート毎月1日号連載「祐介の目」にてお伝えしております。メール配信希望の方は「orion@urban.ne.jp」までお知らせ下さい。



備後招魂祭

ばら祭を考える

5月11日、福山市戦没者追悼式が開催された。毎年ほぼ同じ宗教色を排した形式的な内容であり、追悼の言葉の後に参列者が献花を行い、小一時間で終了する。参列者は高齢化し減少する一方だ。

聞くところによれば、戦前は緑町にあった四一連隊の兵営において「備後招魂祭」という慰霊祭が開催されていた。護国の英霊をまつる大祭壇は、周囲に幟や色とりどりの吹流しを配い、数々の供え物で飾っており、初日は神式、二日目は仏式で祭典が行われた。また、広場には競馬場が作られ、他にも数々の興行(オートレース・相撲等)があり、老い若きも一ついで参拝した備後全体の大祭典であったようだ。国の為に命を捧げた人達への感謝の祭だったのだ。

経済レポート H25.6.1「祐介の目」

まちづくりを進めているが、ばらのまちとしての「重み」が足りない気がしてならない。この承知のようには、ばら公園は昭和32年に空襲の焼け跡に1000本のバラを植えたことが始まりで、戦後復興のシンボル、平和の象徴として位置づけられている。しかし、市民がああ空襲の犠牲者や緑町公園にあった四一連隊の兵士達に思いを馳せて祭りに参加しているだろうか？ 単なるお祭り騒ぎに終わらせたくない。

私は、ばら会の小林名誉会長との戦争体験をお聞きしたことがある。満州にて50kgの爆雷を抱えてソ連軍戦車の下に飛び込む決死隊になり、その後モンベリアに抑留され、地獄の苦しみ味わったそうだ。そのような体験を経て、ばら公園の創設に関わられたが、我々とは比較にならない程の平和に対する思いがあった。我々はそのような戦争の歴史を継承することなく、「平和」という観念的な思いを唱えるだけになったので、ばらのまちづくりの「重み」が増してこないと私は感じている。そこで提案するが、戦没者追悼式とばら祭を合体させ「招魂ばら祭」とし、戦争とばらに関するミニシアム等も整備してはどうだろうか。



芦田川に掘られた巨大な井戸

水道事業を考える

今年3月の上下水道局市民意識調査によれば、前回と比較して水道水に対する安心度が高まり、味や臭いに対する不満が減少して水道水をそのまま飲む人が増えているそうだ。もともと福山市の水道水は決してまずくないが、先の意識調査結果は原水を取水している芦田川が水質ワースト1を返上し、水質が改善されたというイメージアップが水道水をおいしく感じさせていると考えられる。特に市内中心部に配水している北本庄の出原浄水場の水はおいしいはずだ。出原は芦田川左岸に掘られた直径6m、深さ10mの巨大な7本の井戸から伏流水を取水して原水としている。出原浄水場は現在、平成27年度までの6か年計画で施設更新を実施しているが、市北部から芦田川左岸の一方通行の土手を南下すると井戸の配管工事の様子を見ることが出来る。今年の夏も濁水が心配されるが、出原の井戸は芦田川の表流水が過れても余裕があるそうだ。今回の施設更新は50年前に掘った井戸はそのまま使用し、る過方式を緩速する過から急速な過方式に変えることにより「黒水」の原因となるマンガンの除去も効果的にを行い、残留塩素監視装置によりカルキ臭も低下する。約40億円の事業費をかけて新旧のよい技術を取り混ぜたハイブリッド型の浄水場に生まれ変わる予定だが、市民周知ができていないと言いたい。水道事業をもっと身近に感じてもらうにはどうしたらよいだろうか。

まず、市制施行の原点となった水道事業の歴史について学習する機会を増やすことが必要だ。熊野の水源池や佐波の浄水場跡など史跡も多く残っている。次に家庭や企業で取り組める水確保策として雨水貯留タンクの設置や、災害時の水の備蓄手段として太陽熱温水器を利用する方法がある。それを利用して補助金を出せば整備も進み、市民の水に対する意識も高まるだろう。出原浄水場の施設更新が完了すれば広大な空き地が生じる予定であり、サッカーグラウンド等に活用して市民が集える浄水場とし、施設見学も受け入れてほしい。

経済レポート H25.7.1「祐介の目」

配されるが、出原の井戸は芦田川の表流水が過れても余裕があるそうだ。今回の施設更新は50年前に掘った井戸はそのまま使用し、る過方式を緩速する過から急速な過方式に変えることにより「黒水」の原因となるマンガンの除去も効果的にを行い、残留塩素監視装置によりカルキ臭も低下する。約40億円の事業費をかけて新旧のよい技術を取り混ぜたハイブリッド型の浄水場に生まれ変わる予定だが、市民周知ができていないと言いたい。水道事業をもっと身近に感じてもらうにはどうしたらよいだろうか。

まず、市制施行の原点となった水道事業の歴史について学習する機会を増やすことが必要だ。熊野の水源池や佐波の浄水場跡など史跡も多く残っている。次に家庭や企業で取り組める水確保策として雨水貯留タンクの設置や、災害時の水の備蓄手段として太陽熱温水器を利用する方法がある。それを利用して補助金を出せば整備も進み、市民の水に対する意識も高まるだろう。出原浄水場の施設更新が完了すれば広大な空き地が生じる予定であり、サッカーグラウンド等に活用して市民が集える浄水場とし、施設見学も受け入れてほしい。



河口堰の第一内部に潜る議員の視察の様子

議員の視察について

議員視察は「旅行」であり、視察成果が実際に反映されることは少ないとマスコミが書き、読者の多くが同調する。

私は7月12、13日と東京に行ってきた。主な目的は都市対抗野球・JFE西日本対ホンダ(狭山市)の応援。

12日の午後、神田にある低落差型流水式小水力発電システムに取り組みシベルインターナショナル株式会社を訪問し、海野社長と芦田川河口堰を利用した潮汐発電の可能性について意見交換をした。海野社長は、単純計算で4.5メガワット(一般家庭3千軒分の電力)程度の出力が期待できると私見を述べた。ただし、水利権を保有する国土交通省の壁は厚く、現時点における実現の可能性は低い。将来に夢や希望を持たせる案として、発電出力の試算を行うことを約束してくれた。

夕方より「JFE西日本激励

経済レポート H25.8.1「祐介の目」

夕食会に参加し、JFEスチールの林社長をはじめとする多くの方々と意見交換をすることができた。

13日は早朝より、皇居を走って一周した。視察先で早起きしジョギングで見聞を広める事は、私の他に榎原市議や早川市議が常連だ。午前中は国会図書館の憲政資料室にて、レイテで全滅した歩兵第四十一連隊と対戦した米軍の第一騎兵師団の記録をマイクロフィルムで閲覧した。これまで詳細不明であった四十一連隊の行動が明らかになり、その健闘に米軍も一目置いた事が読み取れた。

14時から東京ドームで試合開始。JFEは下馬評を覆してホンダに圧勝し、福山・倉敷から来た大応援団は大いに盛り上がった。

試合後は「みたままつり」開催中の靖国神社を参拝し、千鳥ヶ淵墓苑で開催された千代田区の戦没者追悼式に参列した。年々遺族の参加は減るが、地元中高生やバスバンドによる国歌演奏、「ふるさと」の合唱、追悼の言葉朗読等、次世代に繋げる努力が式次第に見られた。

私に限らず議員の多くは視察成果が上がるよう、時間を有効に使っている。温泉旅館で宴会は昔話である。



陸前高田市長の講演会

陸前高田市長の講演会

7月末に水曜会の議員有志で陸前高田市の戸羽市長を招き講演会を開催した。私が震災直後に支援物資を届けに陸前高田を訪問した事が縁となり、多忙な身にもかかわらず交通費のみで来てくれた。

震災から2年4ヶ月、メディアが取り上げてくれなくなってきたので、戸羽市長は全国を回り被災地の実情を訴えている。今回の講演会の予告記事を書いてくれたのは、本誌と中国・山陽新聞のみだった。講演は全市民に聴いていただきたい内容であったが、議員主催という事も取り上げにくかった様子だ。議員の不祥事は記事になっても、普段の活動が取り上げられる事はまず無いので、こうして自分で書くしかない。

戸羽市長は、津波発生時のシミュレーションや対策は十分行っていたが、結果的にはそれが甘かったと述べた。原因は、

経済レポート H25.9.1「祐介の目」

陸前高田市の職員は295人中68人が亡くなった。公務員は災害発生時でも逃げられないが、いざという時は一時的に退避できるルール作りが必要ではないかとの提言もあった。それにしても、復興を阻んでいるのは法律の壁だ。法律は所詮、人間の決めた約束事だから国会で変えれば良いのに、有力国会議員でも法律改正を渋る。いかに現状の法律内でごまかすか、という話をしたりする。戸羽市長の復興に向けた原動力は「くやし」だそうだ。多くの部下や市民、家族を犠牲にした身と、官僚や国会議員との差は「くやし」があるか無いかの違いだと言った。

最後に戸羽市長は、「被災地に来られたら、ぜひ備後弁で話してほしい。そうすれば福山から来てくれたことがわかり、住民の励みになります。」との事だった。観光で良いので、ぜひ一度陸前高田を訪問して欲しい。



マックス・マニックス監督と

知られざる福山連隊の歴史

福山市の観光大使第一号を委嘱した、ハリウッド映画「ウルヴァリン：SAMURAI」の主演ヒュー・ジャックマン氏はオーストラリア人だ。2008年には、日本軍によるポートダーウイン空襲を題材にした「オーストラリア」という映画にも出演している。1901年の建国以来、オーストラリア本土を攻撃した国は日本だけであり、無報酬で観光大使を委嘱する上で、両国間の歴史をよく理解して人間関係を深めて欲しい旨を、9月議会で羽田市長に要望した。

実は福山とオーストラリアの関係は深く、福山歩兵第四一連隊は、マレーシアのゲマスと、ニューギニアのギルフにて激戦を交えている。さらに戦後、福山へ進駐したのはオーストラリア軍であった。元兵士のブラウン氏は帰国後も度々福山を訪問し、自国のバラをばら

経済レポート H25.10.1「祐介の目」

公園に寄付もされている。そして、オーストラリア人なら皆知っているカウラ捕虜収容所の大脱走事件、これをモデルにした映画「Yellow Earth」が、オーストラリア人のマックス・マニックス監督により制作される。マックス監督は「東京ソナタ」の脚本を書き、「レインフォール」の監督を務めたので日本での知名度は高い。集団脱走を煽動したのは福山四一連隊の兵士であったことで、連隊の歴史の1ページが映画化されることは、福山の知名度向上にも繋がるだろう。マックス監督が福山のゆかりの地を見学したいとのこと、近日中に私が案内する予定だ。

しかし、連隊の跡地(緑町公園)に記念碑等は何も無い。連隊跡地を示す碑はJA福山の敷地内にあるが、当時の広島大学福山分校が敷地内に建立を認めなかったためであり、間違ったメッセージを発信し続けている。明治四一年に広島から誘致した四一連隊のお陰で福山は発展し、市制施行に大いに貢献したことはまぎれもない事実である。三年後の市制百周年までに、跡地の記念碑くらいは本来の場所(緑町公園)に移設してほしいと思うが、いかがだろうか。



マウイの風力発電所

親善友好都市マウイ訪問

10月私は、親善友好都市提携している米国ハワイ州マウイ郡へ親善訪問団(団長・羽田皓市長)の一員として訪問した。初日はマウイ郡庁にて歓迎レセプションが開催され、フラダンス・琴の演奏による歓迎があった。その際、親善友好都市提携5周年記念のバラの植樹が行われた。なお、マウイ郡議会の議長宅には立派なバラ園があるとのことだ。夕食は郡議会関係者と会食したが、それぞれの町の問題点・課題について大いに意見交換することができた。

翌日はアラン・アラカワ郡長を表敬訪問したが、郡長は再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組んでいた。全島のエネルギーに対するシェアは30%、マウイは離島ゆえに化石燃料の輸送コストが高くつき、電気料金・ガソリン価格ともに全米一高いことが導入の理由だ。具体的には、風力・地

経済レポート H25.11.1「祐介の目」

熱・太陽光・波力・バイオマス・バイオエタノール(付トウキビより精製に力を入れている。ウインドファームでは山の稜線に51基の風車が稼働中であった。我々が訪問した際、日立が電気自動車「リーフ」を夜間の蓄電池に利用する等のスマートグリッド、すなわち従来のように大型発電所だけに頼らず、地域で必要な電力を地産地消する仕組み作りについて提案していた。規模は違ったが、同じ島国の日本にとって参考になる取り組みであるし、そこに日本メーカーの技術が活用される事も心強い。

そして、マウイ最大のお祭りカウンティ・フェアのパレードに内海町の和太鼓グループ「響組」と共に参加した。市長と法木副議長はオープンカーに乗り、私は車の横を早川議員と共に日の丸を振って歩いたが、沿道の日系人からの反応が非常に良かった。

最後にマウイは退職後のアメリカ人が移住したいNo.1の島だそうだ。気候は穏やかで自然も豊か、サーフィン、ダイビング、ゴルフ、釣り等、スキー以外のあらゆるアウトドアスポーツが楽しめる。次回は希望者と一緒にプライベートで訪問したいものだ。